

実弾射撃

陸上自衛隊では、2月中の実弾射撃をつぎのとおり行ないます
実施場所=池田射撃場
実施日程=1日~3日、9日、10日、13日~18日、24日、25日、27日、28日

大村市政だより

■昭和33年4月22日第三種郵便物認可 ■毎月3回1日・10日・20日発行 ■定価1部5円
■発行所 大村市役所 ■編集人 総務課長 菊池綱昌 ■印刷所 合同印刷所

火に備えて



消防出初式

1月8日西大村中学校校庭で行なわれました。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

成人になった人の法律

一月十五日、市内で約七百七十人の方が成人式をあげられました。満二十才というのはどういう意味があるのでしょうか。

民法上で完全な法律行為能力を持つことが規定されており、公職選挙法で二十才以上の国民は男女を問わず選挙権を有することになります。また、成人にならなければ営むことのできない職業、すなわち医師、弁護士などになることができます。

戸籍法では分籍して独立の戸籍を持つことができ、また少年法の適用がなくなり、その犯罰行為については普通の刑事裁判手続を受けることとなります。満二十才になると、タバコ、酒のむことが許されます。



新有権者誕生

「ほくたち、これだけは一生汚さずに使おう」

○ (ここをとしてください) ○

消防出初式で表彰された人

知事表彰

神木寅市 仲野春雄 井 神木寅市 仲野春雄 井
本文夫 梶本邦利 本文夫 梶本邦利

県消防協会長表彰

〔特別有功章〕

山口隆治 小峰信一 森 川一弥 晦日武 今里明
登 林進 服部正夫 宮

〔有功章〕

今里福治 晦日武 藤崎 平四郎 田中惣次 田中
武 村田信義 山本満男 米吉 田下一馬 鬼石武
坂本初次 朝長久雄 浦 井川吉春 野口静雄 染
田真人 洲延隆 石義人 前本勇 貞松節

〔精統章〕(三十年)

川純男 野田正善 山口 猛 北川勝一 道添実

〔精統章〕(二十年)

邦夫 山口敏治 増田敏 治 中村勇 浦田真人
小島富夫 浜田重実 浦 山市次 山口要人 坂口
一善 湯田昭 脇崎和利 大串忠 楠本昭 渡辺勝
信 田中秀雄

雄 田川寛 栗山亀久寿 好正 河上正 北川文雄
梶原 悟 岩打勝美 井 田測定 一ノ瀬幸次 宮 善男 田平博 岩崎照一
川純男 野田正善 山口 崎武 長田久年 原田嘉 朝長武 山口栄 遠岳克
猛 北川勝一 道添実 内毅一郎 旭辰己 早川 己 田添重俊
川福家 山道勝 三弦谷 好雄 岩崎賢太郎 上野 退団者は県消防協会長表
邦夫 山口敏治 増田敏 善治 橋本和男 森田香 彰と同じ
治 中村勇 浦田真人 山崎万亀寿 宮野増雄 田中善典
小島富夫 浜田重実 浦 浦山重二 稲崎雄 田崎 田中善典
山市次 山口要人 坂口 吳 北村初郎 森秀雪 田中善典
一善 湯田昭 脇崎和利 渡辺健市 松尾数馬 中 四分団 九分団 十分
大串忠 楠本昭 渡辺勝 島武男 浜田求 井上七 団 十一分団
信 田中秀雄 五三蔵 永野寛十

〔退団者〕 小村孝 服部道男 貞松
〔永年勤続〕(三十年) 神木寅市 仲野春雄 井
〔永年勤続〕(二十五年) 本文夫 梶本邦利
〔永年勤続〕(十五年) 末恒義
〔永年勤続〕(十五年) 山口英之 松永繁一 増
田繁満 野田米之 井手 幹 福田利男 藤本栄
一ノ瀬 中川内逸雄 朝長久夫 松田昇 一ノ
瀬汀 福重信義 羽佐古

明るく正しい選挙を

一月二十九日には、衆議院の総選挙です。この総選挙を明るく正しいものにするために

宣言

私達はこんどの衆議院議員総選挙が国民のための国づくりの重要な選挙であることを自覚し、縁故情実をはなれ選挙違反を追放し、決断と勇気をもって各自が信念の一票を投じます。右 宣言する。

昭和四十二年 一月十四日

大村市正しい選挙推進協議会

互いに明るく正しい選挙をするように努力いたしましょう。

今月は保険料の納期
1月は国民年金保険料
10月11月12月分の納期
です。老後のしあわせ
と不慮の事故にそなえ
て保険料は必ず納期ま
でに納めましょう。

バイクにも責任保険を

バイクも強制保険には
いらなければなりません
あなたのバイクは加入し
てありますか。

一般にバイクといわれ
る原動機付自転車も自動
車損害賠償法の一部改正
で、昨年十月から責任保
険契約をしなければ走れ
ないことになっています
強制保険に入っていれ
ば万一事故を起しても、
被害者に対して支払う損
害賠償金のうち、死亡な
ら百五十万円、傷害なら
五十万円まで保険会社か
ら保険金として支払って
もらえます。

保険料は、使用場所が
離島の場合は千九百四十
円のほかに二千五百四十
円となっています。加入
すると保険証明書とナン
バープレートに貼るステ
ッカーが渡されます。
加入していない人は、す
ぐ手続をしてください。

(3) 大村市政だより

おしらせコーナー

ギターを
習いましょう

一般成人
▽申込 二月八日までに
中央公民館事務室に申
込みください。

成人講座ギター学習を
開設いたします。初心者
を対象にいたしますので
ふるってご参加下さい。

▽場所 中央公民館
▽期間 二月十一日から
三月二十六日までの毎
週日曜日と祭日

▽時間 午後二時から四
時まで
▽申込資格 市内在住の
日

▽日程

大村市立病院 1月16
日から1月31日まで
国立大村病院 2月1
日から2月15日まで

原爆被爆者の
定期検診

時間はいずれも午前9
時から12時まで。

▽受診資格
原爆手帳を持っている
人。ただし、他県及び長
崎市長発行の手帳を持っ
ておられる方は住所変更
をしてからでない受診
できません。また、旧手
帳を持っている人は保健
所へ届けてから受診して
ください。

なお、当日は被爆手帳を
当日の指頭大の大便をマ
ツチ箱に入れて持参して
ください。

スポーツ

▽明るく正しい選挙推進
青年団ロードレース

日 時 1月22日

午後二時スタート

コース 大村郵便局↓

市立病院↓国道34号線

↓大村郵便局の5キロ

▽県下青年駅伝

日時 2月12日 午前

10時スタート

コース 大村く彼杵折

返しの35キロ

全面交通止

大村空港整備工事の
ためつぎのとおり全面
交通止が行なわれてい
ます。

ご注意ください。

期間 3月25日まで

場所 市道38号線、

竹松住宅古賀島線 今

津字黒山二百四十メー

トル、農道二百五十メ

ートル

清和園に寄付

□□□□

△某氏雑誌二十五冊

△小佐古北川シミ子 レ

コード二十八枚 △下諏

訪町中沢貞夫 タオル十

枚 △諏訪町神田万次郎

みかん八キロ △池田住

宅十区西野竹一 四百円

△某氏雑誌二十八冊 △

長安寺婦人会 菓子三十

二袋、チリ紙三十二束

△大村市すし組合 すし

四十人分 △本経寺 り

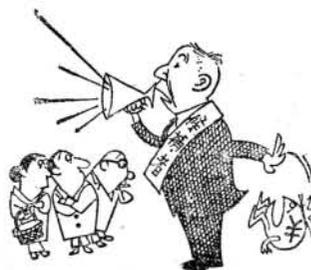
んご二十四キロ △大佐古

洲幸子雑誌十二冊 △某

氏 雑誌三十七冊 △原

こんな人を選ぼう

1月29日は衆議院の総選挙



口郷 鹿取茂夫 甘藷六
十キロ △三城婦人会

三千百円 △佐世保市上

相浦町 兼武富男 りん

ご十九キロ みかん三十

キロ △西彼杵郡三重村

民生委員協議会 千円

△大村市中地区(西大村)

喜さんは亡母加藤いわさ

んの忌明に、また市内中

諏訪町の大楠フクさんは

亡夫正一さんの忌明に金

一封をそれぞれ社会福祉

事業費として寄付されま

した。

忌明に寄付

□□□□

糖工キロ △植松老人会

市民手帳

不時の災害と貯蓄

私たちの生活には、ときおり思いもよらない災害がやってきます。私たちは予測できない不時の災害をおそれます。それをうらずけるように、貯蓄の動機も「病気や不時の災害にそなへて」「子供の教育費」「老後の生活のため」と続きます。また貯蓄の種類を見ますと、「予貯金」がトップでついで、「生命保険簡易保険」となっており、この2つが貯蓄の大部分を占めています。このように生命保険、簡易保険の利用度の多いのは驚かされます。保険は貯蓄の動機の大半を占める「不時のそなへ」にはうってつけのものですから生活設計を考へるうえでは欠くことのできない要素といへましよう。

退職手当等の分離課税

地方税法の改正によつて、昭和四十二年一月一日以後に支払われる退職手当等に対する市県民税は、所得税と同じく現年課税となり、他の所得と分離して課税されることになりました。この納税の手続きは、退職手当等の支払者が、その支払を行なう時支払金額から税金を天引きして、天引きした月の翌月十日までに市町村に納めていただくこととなります。所得税と相違する主な点は、退職手当等の支払を受ける

慰問金特別受給権

問 父母、祖母は昭和二十七年三月三十一日以前に死亡し妻は戦没者の弟と結婚したが、遺族援護法によつて弔慰金五万円を受け子供は昭和四十年三月三十一日以前に満二十才に達しているのですがこの場合、戦没者の遺族特別弔慰金はもらへないのでしょうか。
答 妻には受給権があります。
問 妻と子に遺族年金を受けていたが、妻は昭和四十年三月以前に死亡し子供は同日以前に満二十

史跡めぐり

荒木十畝

荒木十畝は久原郷九一七番地で明治五年三月十五日大村藩士朝長兵藏の二男として生れ、名を悌次郎といった。十畝は大村中学校に学び、明治二十五年三月二十才の時大志を抱いて東京にのぼりまず最初に父の友人で当時官界に活躍していた大村藩出身の渡辺清氏を訪ねた。そして渡辺氏の紹介により荒木寛畝先生に師事し、明治二十六年二月十一才で寛畝先生の養子となり日本画を専修し藝術院員と聞き門下生の育成などを行なった。
又時には宮様方に日本画を率された横山



【写真】ありし日の荒木十畝先生

の指導を行なつたりしたといわれる。大正十二年(今のお茶の水大学)の七番地で明治五年三月十日には帝國美術院会員に推せんされ、その後日華連合絵画展覧会を開いて両次郎と生れ、名を悌次郎といった。十畝は大村中学校に学び、明治二十五年三月二十才の時大志を抱いて東京にのぼりまず最初に父の友人で当時官界に活躍していた大村藩出身の渡辺清氏を訪ねた。そして渡辺氏の紹介により荒木寛畝先生に師事し、明治二十六年二月十一才で寛畝先生の養子となり日本画を専修し藝術院員と聞き門下生の育成などを行なった。
又時には宮様方に日本画を率された横山
【写真】ありし日の荒木十畝先生
大観画伯と肩をならべて日本画壇の重鎮であった又東京女子高等師範学校(今のお茶の水大学)の教鞭を長いあいだとり晩年は箱根で墨色の画に意をそそいだ。代表作には四季花鳥、白鷹、鶴鳳凰、黄昏等があり、昭和十九年九月七十二才で他界された。